

インターン募集

健康で主体的に行動できる方、共同生活、協働作業を楽しめる方、教育や福祉、地域起こしに興味感がある方、募集しています。

◆主な活動内容

- ・プログラムの企画や事前準備、資料作成、広報ツール(チラシ、ニュースレターなど)の作成、ビジターのお世話、ボランティアのサポートなど
- ・自分たちが食べる野菜を栽培するために必要な育苗や間引き、除草、収穫などの基本的な農作業
- ・ものづくり(ピザ釜、ガーデンなど)のお手伝い

◆活動条件

- ・週 30~40 時間。休日はイベントに合わせて要相談。
- ・生活支援金 5 万円。個室あり。(家賃光熱費無料)
- ・面接とお試し体験(1 週間)を経て決定。

◆問合せ・申込み先 余市エコカレッジ事務局

090-1303-6485(坂本) junkasakamoto@gmail.com

学び舎とコミュニティファームの利用案内

◆昨年新築した学び舎が貸切利用できます

道産材をふんだんに使った快適空間で、研修やイベントはいかがですか。

- ・研修室(27 畳シアター形式 30 人)、調理施設、トイレ(簡易水洗、バイオトイレ)、シャワー、ロフト(宿泊定員 10 人)
- ・午前、午後、夜間 各 4 時間 5000 円
- ・12 時間 12000 円 24 時間 18000 円
- ・食事ケータリング、寝具のレンタルについてはご相談下さい。

◆コミュニティファーム区画レンタル

100 m²の区画された畑をお貸します。
農具、トイレ、休憩小屋、母屋のダイニングキッチン、学び舎(有料利用優先)が利用できます。

基本料金 20000 円。100 m²ごとに 10000 円

たまにはプロの指導も受けながら、みんなで楽しく耕しませんか。



2015 年 新会員募集!

NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト(HEPP)の活動は、会費、寄付金で支えられています。

今年度から長沼の事業が HEPP から独立したため、活動場所は当面余市だけになります。一方、学び舎ができ、ハル農園、ガンダルフの庭、のぼりんファームなどモンガク地区の農家と連携して「持続可能な暮らしと地域」をより実践的に学べる体制になりました。

週末畑に通う人、夏の間遊びに来る人、イベントに参加したい人、野菜や果物を買って農業を応援する人、移住して起業したい人、多様な参加の機会とつながりを広げていきます。

みなさんも、仲間になりませんか!

正会員: 年会費一口 10000 円

総会の議決権があり、会の運営に参加できます。

サポート会員: 年会費一口 5000 円

情報誌やメールにて活動報告や各種イベントのご案内をします。

・ゆうちょ銀行から(振替用紙をお使いください)

【口座番号】02700-9-85080

【口座名義】北海道エコビレッジプロジェクト

・その他の金融機関から

【銀行口座】北洋銀行 円山公園支店 普通 4031861

【口座名義】トクヒホッカイドウエコビレッジスイシンプジェクト

お問い合わせ & アクセスマップ

【NPO 法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト札幌事務所】

札幌中央区宮ヶ丘 2 丁目 1-1-303

【余市エコカレッジ】

余市郡余市町登町 1863

* JR 余市駅からバスで 10 分

(赤井川線でモンガク下車)、徒歩 3 分

【Tel./Fax】

0135-22-6666

【Eメールアドレス】

y.ecocollege@gmail.com

【Web ホームページ】

<http://ecovillage.greenwebs.net/>



フェアトレード雑貨&レストラン

〒001-0014

札幌市北区北14条西3-2-19

Tel&Fax.011-756-3600

<http://www.mintaru.com/2011>

営業時間/11:45am~10:00pm
定休日/日曜・祝日



エコビレッジ
note



Vol. 21, Apr. 2015



NPO 法人 北海道エコビレッジ推進プロジェクト
(HEPP: Hokkaido Eco-village Promotion Project)
<http://ecovillage.greenwebs.net/>

余市エコカレッジ活動紹介

4/18,19 第一回通年プログラム

今年度初回のテーマはパーマカルチャー。講義と地域のフィールド調査を通じて、地域デザインについて考えると共に、初対面となった参加者同士や運営者との交流の時間となりました。

【フィールド調査～ガンダルフの庭訪問】

笠小春さんと伊藤三太さんの2人のガイドと共に、ハル農園とガンダルフの庭を歩いて訪問しました。



伊藤さんの育てる鶏の孵化の様子を観察してもらい、生命の勢いに感動する場面もありました。

一方、「ガイドがいないとこの地域にある魅力の半分も分からないね」という声も。「魅力を外部に伝えることが地域の課題の1つかもしれませんね。」

【パーマカルチャー演習】

山田貴宏さん(ビオフォルム環境デザイン室)を講師に招いて、パーマカルチャーの概念や応用方法について学びました。



短時間でその全てを理解するのは難しかったけれど、ワークショップではパーマカルチャーというデザインツールを活用して、モンガク谷周辺地域の「リデザイン」に取り組み、少しでもイメージがわいたかも。

多世代・異分野のチームラーニングが楽しみです。

【通年プログラム受講者追加募集!!】

若干名、参加者を追加募集します。興味のある方はご連絡ください。

【次回予告】

5月9～10日
(土曜13時開始、日曜12時解散)

講義: エコビレッジ概論(坂本純科)
実習① そばの種まき、野草の採集と調理(余市のぼりんファーム/木原茂明)
実習② ベンチ制作(鶴飼和敏)



3/14 エコロジカルな住まいのセミナー

学び舎の設計、施工に当たったアトリエ momo の櫻井百子さん、武部建設の山谷棟梁をはじめ、エコロジカルな住まいをテーマに資材、管理など様々な観点からエコロジーとコミュニティというテーマを掘り下げ、市民の暮らしのあり方で解決する方法を探りました。

会場の北大遠友学舎に集まった約40人の参加者はそれぞれの話に熱心に聞き入り、意見や質問が積極的に交わされました。

「学び舎に関わった人たちの思いが伝わった」「伝統的な建設技術を保全してほしい」と話す方もいて、「持続可能な地域作り」を前進させるヒントが満載のセミナーでした。

3/17 第一回フットパスツアー

春から秋にかけての季節とは大きく変身するモンガクの雪景色。

3月は、余市エコカレッジの体験では初となるスノーシューを使用しているウォーキングに挑戦しました。

前日は風が酷く、当日の天候が心配されましたが、参加した皆さんの心がけたまものか、当日は曇り時々無いわんぱな天気。25人の参加者に恵まれ、絶好のお散歩日和となりました。

冬道散歩を終えた後は、仁木の鶴飼さん(百姓園)が打つ蕎麦に舌鼓を打ちながらランチ休憩。

「まっさん」人気で沸くニッカウヰスキー工場も見学し、充実のツアーでした。



【今年度もとおきツアーでお待ちしています!】

第2回: 5月13日(水) 仁木駅から果樹の花を愛でるツアー

第3回: 6月3日(水) 頂白山ハイキングと山野草の鑑賞

いずれもガイドとランチつき。札幌発往復送迎あり。
8時半エルムビル集合、16時半解散予定(札幌駅北口)

問合せ・申込み エコネットワーク
☎ 011-737-7841

持続可能な地域づくり

2015年は地域の生産者や市民団体と連携して様々なプログラムを実施します。エコロジー、エコノミー、コミュニティの共存する活動を展開することで、持続可能な地域づくり(トランジション)を目指します。

【活動予定】

○子ども若者の農村体験

…自然に触れ合う機会の少ない都会の子ども・若者たちが農作業やピザ釜づくり、展望台制作、キッズカフェに挑戦します。

○スイーツによる交流と商品開発

…余市・仁木で生産される豊富なスイーツを使って地域のPRとなるような交流イベントや商品開発を行います。

○農家のサルサバー

…サルサとは男女ペアで踊るスピーディ溢れるラテンダンス。夏の夜は余市エコカレッジがサルサの音楽と共に異空間に変身?! (7~8月土曜日)

○農体験シェアハウス建設

…短期、中期で農業体験やお試し移住を希望する人向けに、シェアハウスを建設予定です。

地域の仲間紹介

【仁木町の農家 鶴飼和敏さん】

2003年から仁木町で体験農園 百姓園を営んでいる鶴飼和敏さん。さくらんぼや葡萄、ブルーベリーなどの果樹栽培をメインにトマト等の野菜も栽培しています。

そば打ちと木工細工はプロ顔負け。今年度はその腕を生かして様々なプログラムで活躍していただきます。いつも頼りになる存在です!



【体験農園 百姓園】

〒048-2413 北海道余市郡仁木町南町10-131-4
【TEL・FAX】0135-32-3911 【携帯】090-1649-9537(鶴飼)